

「落ちない」テーマに訪日客向けイベント 座禅や絵馬作りを体験

市観光協会と大阪成蹊大が連携



大阪成蹊大の学生から説明を聞きながら座禅に取り組む参加者ら＝いずれも三田市桑原

留学生ら参加 欣勝寺で民話を基に

「落ちたくない」ものについて、意見を交わしながら絵馬を作る参加者ら



三田市観光協会と授業を通じて交流のある大阪成蹊大学(大阪市東淀川区)国際観光学部が連携。三田のまち全体で体験型プログラムを提供する「さんだまち博」の一環として、同学部の学生10人ほどが参加した。欣勝寺は平安時代に開かれた古刹。井戸に落ちた雷の子どもを和尚が助けたことから、雷が落ちなくなつたという民話が伝わる。学生の1人が企画の準備で寺を訪れて以来、ライブのチケット抽選に落ちなかった

(黒田耕司)

雷よけのまじない「くわばら、くわばら」にまつわる欣勝寺(三田市桑原)で10日、訪日客向けの観光イベントが開かれた。大学生が企画運営を担い、座禅体験や雷が「落ちない」ことにちなんだ願掛けの絵馬作りなどを提供した。

赤ちゃん46人が白熱の

有馬富士共生センターでハイハイ・よち

児童21人の「子ども店長カ



大泣きする赤ちゃんもいれば、真つ先に母親のもとへハイハイする子も。いずれも有馬富士共生センター



真剣な表情でコーヒーを入れる子ども店長たち

経験から、雷の逸話とかけ「推し活」をイベントのテーマに据えた。米国やフランス、台湾出身者ら約10人が参加。境内で座禅を体験し、座り方や木製の棒「警策」を受け取る際の作法を教わりながら心静かに目を閉じた。続いて、「推し活」や就職など「落ちたくない」ことへの願いを絵馬にしたため、民話を描いた紙芝居も楽しんだ。台湾出身で関西学院大学

の留学生、王宛儒さん(22) 西宮市は「日本語の試験合格をお願いした。座禅ではたかかれてびっくりしたけど、いい経験ができた」と喜んでた。大阪成蹊大3年の水谷月虹さん(21)堺市は「原口心望愛さん(21)神戸市北区は「数カ月かけて準備してきた。海外の人に日本文化を楽しんで学んでもらえたんじゃないかな」と手応えをにじませていた。

就職に際して後ろ向きになりがちな思考を転換し、働くことへ前向きになる方法を教えるセミナー「ポジティブシンキングを学ぶ!」が29日、三田市まちづくり協働センター(駅前町)で開かれる。自信を持って就職活動に臨んでもらおうと、若者サポートステーションなどが主催。キャリアコンサルタントでヨガインストラクター

落語を交え共生

講演のほか、人権を題材としたある。市内の小中行う。標語やポスターは同10、17日、れる。



つどいは午後1時2時20分〜3時40分
でに専
から申
07

就職希望者対象 前向き思考学ぶ

29日、駅前町でセミナー

青春 語写

「いったい何 考えてるう?」

(6月10日、三田松聖高校)
物思いつにふける友達、いったい何考えてるう?
◇(三田松聖高校2年 東谷亮汰)

中学校や高校の写真部の生徒が撮影した作品や報道写真を紹介します。問い合わせは阪神総局807-0803・5544
1、メールアドレスは hanshin@kobe-n.p.co.jp

